

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	子育て支援課長 森下 直彦	
		主管課(関係課)【2】	子育て支援課(子ども家庭支援センター、保育課、児童青少年課)	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
創2-2 子育て支援の促進		子どもがのびやかに育つために	創造性の育つまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	西東京市の子育ての環境を改善するためには、人口増加の見込みを踏まえた保育サービスや子どもの安全の確保、家庭や子どもの成長過程に応じた支援を行う必要があります。さらに、医療費助成など子育て家庭の経済的負担を軽減することで、子育てしやすい環境をめざすことも重要です。子育ての環境の中には、ひとり親家庭の増加や障害児をもつ家庭など、さまざまな事情が存在します。ひとり親家庭への支援や障害児をもつ家庭を地域で支えるしくみなどにも取り組むことで、子育て環境全般の改善に努めます。		・将来人口を見越した子どもを安心して産み、健やかに育てられる環境づくりを進めます ・障害児をもつ家庭への支援	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇国・都の動向としては、従来の「病後児保育事業」から病中の子どもを受け入れる「病児保育室」へと重点が移行しています。 ◇国は、保育事業について、すべての子どもへの良質な成育環境を保障し、子どもを大切にすることを策定中です。 ◇都は、午後7時以降まで開所する、いわゆる「都型学童クラブ」に対する補助制度を平成22年度から創設しました。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	子育て支援サービスの充実に努めます	総合的な子育て支援のための子育て支援サービスの充実	
	2	子育て環境の整備を進めます	多様な保育ニーズに対応した保育園や学童クラブなど子育て環境の整備	

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「出産・育児などの子育て支援環境の充実」に対する市民満足度							
		算出式・説明	子育てを総合的に支援する、子育て相談、交流広場、一時保育などを充実して実施していくことで、西東京市で子どもを育てることができ、安心して子育て環境をつくることができます。市民意識調査で把握します。							
		目標値	30%				単位	%		
		実績値	16.9	16.9	16.9	14.9				
		達成率	56%	56%	56%	50%				
	指標2	名称	病後児保育室の充実							
		算出式・説明	子育てと仕事などとの両立を支援し、児童の健全な育成に寄与するため、子どもが病気のときに一時的に預けることのできる施設が必要です。病児保育を含めたサービスの質的向上を目指します。指標の目標値は病児保育のサービスが拡充された状態を1として設定しています。							
		目標値	1件				単位	件		
		実績値	0	0	0					
		達成率	0%	0%	0%	0%				
	指標3	名称	保育園の建替・整備							
		算出式・説明	老朽化した保育園の建替・整備を計画的に実施し、子育て環境の改善を図ります。具体的な整備計画では、平成20年度に西原保育園、平成22年度にすみよし保育園の合計2園の整備を予定しています。							
目標値		2箇所				単位	箇所			
	実績値	0	1	1						
	達成率	0%	50%	50%	0%					
指標4	名称	学童クラブの建替・整備								
	算出式・説明	大規模学童クラブの解消及び老朽化した施設の建替・改修を行い、子育て環境の改善を図ります。平成21年中に新たな学童クラブを児童館の改修にあわせ設置し、22年4月に西原学童クラブを開設しました。また、平成22年度中に、ひばりが丘第一、ひばりが丘第二、下保谷、東伏見、東伏見第二学童クラブの建替えを行います。								
	目標値	7箇所				単位	箇所			
	実績値	1	0	1						
	達成率	14%	0%	14%	0%					
達成率の平均値			19%	17%	17%	17%				

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	16.9%	満足度(%)	14.9%
満足度(平均ポイント)	-0.22	満足度(平均ポイント)	-0.26
重要度(%)	77.9%	重要度(%)	76.8%
重要度(平均ポイント)	1.37	重要度(平均ポイント)	1.36

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input checked="" type="checkbox"/> まだ未達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】 <input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている		
		意識調査での重要度【18】 <input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る		
検証項目	今後の方針	◇病後児保育室の充実については、質的向上を図るものとして、病児保育への対応を図ります。 ◇子育て支援サービスの充実については、ファミリー・サポート・センターをより多くの市民に周知し、より使いやすい制度にするための検討・見直しを行います。また、子育て負担の軽減の面では、義務教育就学児に対する医療費助成について、子ども手当の一般財源負担などの動向を踏まえながら、所得制限の撤廃について検討していきます。 ◇保育園については、待機児童の解消に向け、市立保育園の建替・整備に取り組んでいますが、民間保育園の新規開設や分園の設置などの計画があることから、東京都と調整を図りながら、私立保育園の開設の実現に向け積極的に調整を進めていきます。 ◇学童クラブについては、計画的な整備を進めるとともに、事業の効率化とサービスの向上を図るため、民間活力の導入を推進します。		
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み			
	施策実施コストの方向性【21】 <input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化			
	施策実施方針【22】 V コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域			
【一次評価後の事情変更等】				
検証項目	説明【23】	なし		
【行革本部評価】				
総合評価	施策内容の方向性【20】 <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み	子育て支援の促進については、子ども家庭支援センターにおいて各種事業を実施してきたほか、市立保育園の定員を園舎建替えに合わせて定員を増員することで待機児童の解消に努めるとともに、病後・病中の児童に対する保育サービスの充実を図るなど、様々な取組みを推進してきました。しかしながら、市民意識調査における満足度が低く、かつ、重要度が高いこと、また、平成22年度当初においても保育園の待機児童が解消されていないことを踏まえると、今後も更なる取組みが必要な状況であるといえるため、施策内容を拡充し、重点的にコストを投下していくべきと判断しました。		
	施策実施コストの方向性【21】 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化			
	判断理由等【24】	施策実施方針【22】 I コストをかけても成果を向上すべき施策領域		

【施策内の事務事業貢献度判定】

創2-2 子育て支援の促進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	子ども家庭支援センターの運営（育児支援訪問事業）	子ども家庭支援センター	養育困難な家庭に訪問し、育児の支援を行います。
	子ども家庭支援センターの運営（子育て広場事業）	子ども家庭支援センター	0歳から3歳までの乳幼児と保護者の遊び場及び交流の場を提供し、子育て不安の解消や仲間づくり等の子育て支援を行います。コール田無「ピッコロ広場」、住吉会館「のどか広場」の2か所で実施しています。
	ファミリー・サポート・センターの運営	子ども家庭支援センター	育児の支援を行う人〔サポート会員〕と育児の支援を受ける人〔ファミリー会員〕が、地域の中で助け合いながら子育てをする有償ボランティア活動を運営しています。（社会福祉協議会委託事業）
	病児・病後児保育室の運営	子育て支援課	病気の最中や病気回復期にあって、保育園や幼稚園に通園できない子どもや保護者の都合により育児・看護が困難となったときに、医院に併設した場所で子どもを一時的に預り、子どもの病状が悪化したときは、その医院の医師が対応する事業です。 医療機関2施設に業務委託しています。定員：病児病後児保育室えくぼ6名、病後児保育室ぱんだ4名
2	保育園施設の建替え（すみよし保育園）	保育課	保育所入所待機児童の解消及び保育環境の充実を図るため、老朽化した保育施設の整備を行います。 平成21～22年度は「すみよし保育園」の建替を行っています。
	保育園施設の大規模改修	保育課	ほうやちよう保育園は、平成元年都営住宅の建替えに伴い、旧ふじ保育園が移転した施設ですが、築20年を経てクーリングタワー方式の空調を中心に老朽化しており、点検においても交換の必要性が指摘されていることから、平成22年度に、空調設備を中心に内装、建具、調理室等の改修を行う予定です。
	保育園施設の耐震改修	保育課	耐震促進法により対象となった保育園（けやき、はこべら、なかまち、ひがし、しもほうや、やぎさわ）の耐震診断を行い、必要な改修工事等を行うことを予定しています。 平成21年度に4園（なかまち、ひがし、しもほうや、やぎさわ）の耐震診断を実施し、翌年度以降に耐震実施設計、耐震改修工事を実施し、耐震基準を満たす施設としていきます。
	（仮称）ひばりが丘団地内保育園の整備	保育課	ひばりが丘児童館の建替にあわせて、田無乳児保育園を統合し、児童館・学童クラブとの合築により、0歳から就学前までの保育園施設を整備します。 なお、0歳から2歳児までの保育を行っている田無乳児保育園については廃止する予定です。
	子育て相談、交流広場、一時保育事業の実施	保育課	保護者の方のさまざまな理由により保育に欠ける状態になったときに、一時的に保育園で児童を預かる事業であり、最大で週に3日利用することができます。 事前に登録をし、西原保育園、ほうやちよう保育園、しもほうや保育園、みどり保育園、田無保育園に直接電話で申し込みます。
	保育園の民間委託の実施	保育課	多様化する保育ニーズに対応し効率的な運営を行なうため保育園運営に民間委託を進めています。 これまで3園を民間委託し、平成27年度までに合計7園について順次実施していく予定となっています。 民間委託を実施した園では、受入対象年齢の拡大や、延長保育・一時保育等が実施されています。

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事業費		事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費				
7,806	3,362	4,444	—	—	児童を養育する保護者が疾病等により、一時的に養育が困難となった場合に、安心して子どもを預けることができることから、児童及び家庭の福祉の向上を図ることができます。	B
4,902	1,047	3,855	—	—	児童の養育について、自ら支援を求めていくことが困難な状況にある家庭に対し、過重な負担がかかる前に、支援員等が訪問することにより育児等の負担軽減を図ることができます。	B
28,564	12,832	15,732	改善・見直し (平成18年度)	中	子育て中の保護者同士の交流の場を作ることで、子育て不安の解消や仲間づくり等、子育て支援の向上を図ることができます。	B
10,972	8,952	2,020	改善・見直し (平成18年度)	中	身近な地域における育児の相互援助活動を促進することで、親が安心して子育てができ、地域と関係機関が一体となり、子どもの成長を支援する社会づくりに寄与します。	B
24,888	23,999	889	改善・見直し (平成21年度)	上	病気の最中や病気回復期にある子どもを一時的に預かる事業の実施により、保護者の子育てと就労の両立支援と児童の健全な育成に寄与します。	B
536,457	534,841	1,616	—	—	定員を116人から126人と10人拡大することで、待機児の解消や子育て環境の充実を図ることができます。	B
51,944	51,136	808	事業化 (平成21年度)	—	老朽化した保育園施設の改修により、子育て環境の質の向上が図られます。また、民間委託を円滑に進めるための事前事業としても位置づけられています。	B
21,703	20,895	808	事業化 (平成21年度)	—	保育園施設の耐震化を進めることで、子育て環境の安全性を確保することができます。	B
270,022	268,406	1,616	—	—	ひばりが丘団地内に保育園、児童館、学童クラブを一体とした複合施設を整備し、定員を79人増やすことで、待機児の解消や子育て環境の充実が図られます。	B
62,866	39,757	23,109	改善・見直し (平成21年度)	中	仕事をしていない人も対象とした一時保育事業の実施により、子育てを行っている保護者のリフレッシュになると共に、待機児の解消策となります。	B
500,654	496,856	3,798	継続実施 (平成18年度)	中	民間のノウハウの導入により保育サービスの拡充が図られると共に、民間委託によって生じた人的・物的資源をもとに、地域の子育て家庭に対する新たなサービスの仕組みを整備することができます。	B

【施策内の事務事業貢献度判定】

創2-2 子育て支援の促進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	学童クラブ施設の改修 (東伏見学童クラブの移設)	児童青少年課	施設の老朽化に伴う移転改築を、東伏見小学校北側を流れる石神井川河川改修工事の実施(河川改修工事の事業用地に施設の一部が含まれている。)に合わせて実施するものです。 また、東伏見小学校3階に設置されている東伏見第二学童クラブ施設を、児童の利便性及び安全確保等の充実を図るため同施設に移設します。
	学童クラブ施設の増設の検討	児童青少年課	(創2-1 児童館施設の改修で実施) 国の放課後児童健全育成事業(放課後学童クラブ事業)の方針(大規模学童クラブの解消、1施設71名以上の学童クラブへの運営費補助金の廃止)により、その該当学童クラブ施設への対応策として平成21年4月から仮設施設においてひばりが丘第一学童クラブ、ひばりが丘第二学童クラブに分割しました。また、けやき学童クラブについては近接する西原児童館の改修工事に合わせ、児童館内に学童クラブを設置し、22年4月に30番目の学童クラブとして開設しました。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事業費		事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費				
44,688	43,072	1,616	事業化 (平成21年度)	-	老朽化や立地条件のよくない学童クラブの改修・移設により、子どもの安全で快適な空間を確保し、児童福祉の向上に寄与します。	B
0	0	0	-	-	大規模学童クラブの解消を図ることで、子どもの安全で快適な空間を確保し、児童福祉の向上に寄与します。	B
1,565,466	1,505,155	60,311				